

公私ともに公約実現に決意

記者席ノート

◇…自民党の鈴木憲和衆院議員(県2区)を囲む「新春のつどい」が31日、米沢市のグランドホクヨウで開かれた。前日に32歳の誕生日を迎えたことに加え、自身から年内結婚の「公約」が飛び出し祝賀ムードに包まれた写真。

同世代の大沼瑞穂参院議員は「5年、10年を見据えた活動ぶりは頼りがいがある」とエール。「お父さん」と慕う後藤源、中川勝尚県議からは「初当選で得た10万744人の心を忘れるな」「景気、農政の次の一手をしっかりと」と叱咤(しった)激励を受けた。

鈴木氏はライフワークの農政課題に加え、教育や公共工事の充実も強調。東北中央自動車道の栗子トンネルだけでなく、「山形新幹線の福島―米沢間をフル規格にして、新たな県境トンネルを開通させることを、政治生命を懸けて実現したい。東京まで1時間半でつな



がり仙台より近くなる」こと力説した。来賓から水を向けられた結婚については「今年中にこの場で会をやれるよう取り組みたい」と述べ、公私ともに年頭の決意を表明する場になった。